

平成二十六年度 町政執行方針概要

町政執行方針概要

3月10日（月）から3月17日

（月）まで開催された第一回議会定例会で、金平町長が平成26年度の執行方針について述べ、生沼教育長が教育に関する執行方針を述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務課までお問い合わせください。

会定例会で、金平町長が平成26年度の執行方針について述べ、生沼教育長が教育に関する執行方針を述べました。

今年、沼田町は明治27年に開拓の歴史が下されてから、120

平成26年度町政執行方針概要



年を記念すべき年を迎えます。その間、幾多の苦難を経て今日の郷土を築かれた先人のたゆまぬ努力と大変なご労苦に心より敬意と感謝を申し上げる次第であります。

また、この120年の記念すべき年を市民とともに祝い申し上げ、健康長寿社会に備えた新たな町づくりのスタートにしてまいります。

私は、町長就任以来、地域住民の生活応援を基本に沼田町第

120年をめざして、全

く新しいまちづくりに向けて、全

ての力を取り組んでまいりました。

この間、深い理解と温かいご支援を賜りました議員各位並びに市民の皆様には厚く感謝申

し上げる次第であります。

さて、安倍首相は今国会の施

政方針演説で、かつて日本は東

京五輪の1964年をめざし、大きく経済発展を遂げたことを

引き合いに、2020年の東京

五輪、パラリンピックが東京に

とどまらず、北海道から沖縄ま

で日本全体の祭典と捉え、20年

そしてその先の未来を見据え

5次総合計画に掲げる町の将来像「ずっと支える、もつとはばきつかけとなることを期待し、日本の中に眠るあらゆる可能性を開花させる新しい国づくりを目標に多くの市民の声を聴いため、町民の皆様のもとに出向き、ご意見をお聞きする機会を増やすとともに、町内各種団体と一緒に交換しながら、出来る限り誠実にそして、市民の生活に身近な役場になることを念頭に新しくまちづくりの人を大切にする」とともに、町内各種団体と一緒に交換しながら、出来る限り誠実にそして、市民の生活に身近な役場になることを念頭に新しくまちづくりの人を大切にする

像「ずっと支える、もつとはば

きつかけとなることを期待し、日本の中に眠るあらゆる可能性を開花させる新しい国づくりのキーワードに将

め、町民の皆様のもとに出向き、ご意見をお聞きする機会を増やすとともに、町内各種団体と一緒に交換しながら、出来る限り誠実にそして、市民の生活に身

近な役場になることを念頭に新しくまちづくりの人を大切にする

像「ずっと支える、もつとはば

きつかけとなることを期待し、日本の中に眠るあらゆる可能性を開花させる新しい国づくりのキーワードに将

め、町民の皆様のもとに出向き、ご意見をお聞きする機会を増やすとともに、町内各種団体と一緒に交換ながら、出来る限り誠実にそして、市民の生活に身

近な役場になることを念頭に新しくまちづくりの人を大切にする

て、新しく生まれ変わる大きなきつかけとなることを期待し、「教育」「地域力」そして「防災」日本の中に眠るあらゆる可能性を開花させる新しい国づくりのキーワードに将目標に多くの町民の姿を意識した政策を、3年目は医療機関存続を念頭に進めよう決意を述べられており、わが国は、安倍政権が掲げる「アベノミクス効果」により、すべて長く続いたデフレ経済からの脱却や円高の是正により、すべて見交換をしながら、出来る限り誠実にそして、町民の生活に身近な役場になることを念頭に新しくまちづくりの人を大切にする

医療・福祉体制の充実を柱とした「農村型コンパクトエコタウン構想」の着手など将来の町の姿が見える政策を進めてまいります。

今般、沼田町のみならず日本の地域で一年前と比べて、消費が拡大し、景気の拡大が図られつつあるとのことです。が、この間、深い理解と温かいご支援を賜りました議員各位並びに町民の皆様には厚く感謝申し上げる次第であります。

さて、安倍首相は今国会の施政方針演説で、かつて日本は東京五輪の1964年をめざし、大きく経済発展を遂げたことを引き合いに、2020年の東京五輪、パラリンピックが東京にとどまらず、北海道から沖縄まで日本全体の祭典と捉え、20年

につながり、都市部の景気回復にとどまらず、過疎化の進行や少子高齢化の進行など依然として消費の拡大が4月から予定されるとともに、町政を担当して4回が拡大し、景気の拡大が図られつつあるとのことです。が、この間、深い理解と温かいご支援を賜りました議員各位並びに町民の皆様には厚く感謝申し上げる次第であります。

さて、安倍首相は今国会の施政方針演説で、かつて日本は東京五輪の1964年をめざし、大きく経済発展を遂げたことを引き合いに、2020年の東京五輪、パラリンピックが東京にとどまらず、北海道から沖縄まで日本

ア」を念頭に①医療との連携強化、②介護サービスの確保の検討、⑤高齢期になつても住み続ける事のできる高齢者住宅等の整備、この5つ観点に先ほどの「互助」「自助」による支え合い、助け合いを関連機関・団体との連携により「明るい幸齢化社会」を目指す「沼田町」の実現に向けてスタートの年となるよう取り組む所存であります。

提案しております一般会計予算は、課題でありました沼田小学校改築事業の屋外運動場の整備を最後に、3か年に亘るプロジェクトを完了させたところであります。ですが、平成26年度に執行する大型事業もあり、前年度同額の総額40億円としたところであります。

一般財源においては、地方交付税の削減方針から過大計上を避けるとともに沼田厚生病院の診療所化に伴い、不採算地区公的病院の特別交付税は皆減となることから、これら今後必要とする財源留保を行った結果、

5千万円の財源不足となり、財政調整基金を繰り入れて收支の均衡を図っております。

今後も国の財政動向や経済動向を見極め、町の将来に禍根を残すことのないよう、健全な財政運営を基本とし財政秩序の堅持等、持続可能な財政基盤の確立に努力してまいります。

また、7特別会計の総額は、17億5,645万円となり、一般会計、特別会計を合わせた総額は57億5,645万円であります。

平成26年度の町政執行の重点戦略及び主要な施策の概要を申します。

重点戦略

本町の地域医療機関として貢献いたいでいる沼田厚生病院につきましては、運営赤字の増大や看護師をはじめとする医療スタッフの確保が非常に厳しい状況にあることから、本年4月からの無床診療所化への転換を決断し、先に町民説明会でご理解をいたいたところであります。

本町の地域医療機関として貢献いたいでいる沼田厚生病院につきましては、運営赤字の増大や看護師をはじめとする医療スタッフの確保が非常に厳しい状況にあることから、本年4月からの無床診療所化への転換を決断し、先に町民説明会でご理解をいたいたところであります。

地域産業 づくり戦略

の開設支援を追加いたしました。

人口減少に歯止めをかけるためには何と言つても働く場の確保と産業の振興であります。特に農業においては、戦略本部となる農業総合対策室を核としたながら本町農業の持続的発展を図るために、担い手の確保や新規参入者が就農できるよう、サポート体制をより拡充し取り組んでまいります。

また、企業誘致の立地に向けた活動を継続しつつ、新たに地域おこし協力隊を募集し、外部からの人材を活用するとともに、町の観光PRや特産品販売などの事業を観光協会に集約一本化し、商工会との連携を密にしながら、将来の法人化を視野にビジネス化を目指す取り組みに着手することや、旧シルバーリバービジネスによる法人化を視野に人材センターの活用を図り、シルバービジネスに新たなニューカーとして「仮称」町内会子ども塾」なつて学ぶ場の機会を創出する仕組みとして、地域提案型まちづくり事業に新たなニューカーとして「仮称」町内会子ども塾」なつて学ぶ場の機会を創出する仕組みとして、地域提案型まち

ることによる町民の不安を少しでも解消するため、和風園をはじめとする町内の福祉施設等を有効に活用し、医療、福祉、介護等の総合的なサービス体制を整えてまいりたいと考えております。

また、「沼田町農村型コンパクトエコタウン構想」につきましては、将来の沼田町のあるべき姿を町民とともに作り上げることを目標とし、基本計画の策定に着手し、具体化に向けて作業を加速してまいります。

なお、構想の一つの柱に位置付けしております地域エネルギーの再生可能エネルギーの導入の可能性について検証を行ってまいります。

町民がボランティア活動を通じて、ご自身の健康増進と介護予防を図り、高齢者の活躍の場の創出やボランティア制度を創設いたします。

また、高齢者の中にはご自宅に閉じこもりがちな方もおられることから、出前型の高齢者サロンをモデル的に開設し、外出のきっかけづくりや交流を図り、高齢者の拠りどころとなるように取り組んでまいります。

また、高齢者の中にはご自宅に閉じこもりがちな方もおられることから、出前型の高齢者サロンをモデル的に開設し、外出のきっかけづくりや交流を図り、高齢者の拠りどころとなるように取り組んでまいります。

超元気な高齢者戦略

今後、高齢者比率が今以上に高まることは、医療や介護負担の増加に繋がり、将来自治体運営に大きくのしかかることは言うまでもありません。そのことからも元気でいつまでも、安心して住み続けられるように、新たに介護支援ボランティア制度を創設いたします。

町民がボランティア活動を通じて、ご自身の健康増進と介護

予防を図り、高齢者の活躍の場の創出やボランティア制度を創設いたします。

また、ご自身の健康増進と介護

予防を図り、高齢者の活躍の場の創出やボランティア制度を創設いたします。

また、ご自身の健康増進と介護

予防を図り、高齢者の活躍の場の創出やボランティア制度を創設いたします。

今後、高齢者比率が今以上に高まることは、医療や介護負担の増加に繋がり、将来自治体運営に大きくのしかかることは言うまでもありません。そのことからも元気でいつまでも、安心して住み続けられるように、新たに介護支援ボランティア制度を創設いたします。

町民がボランティア活動を通じて、ご自身の健康増進と介護

予防を図り、高齢者の活躍の場の創出やボランティア制度を創設いたします。

町民がボランティア活動を通じて、ご自身の健康増進と介護

予防を図り、高齢者の活躍の場の創出やボランティア制度を創設いたします。

町民がボランティア活動を通じて、ご自身の健康増進と介護

予防を図り、高齢者の活躍の場の創出やボランティア制度を創設いたします。

無線 LAN 実証実験

無線 LAN とは、無線でデーターの送受信を行う通信網を指し、災害発生時にも物理的に切断される事が無いのが特徴です。写真は昨年の10月に行われた屋外無線 LAN 実証試験概要説明会の様子です。



自分自身が「体の責任者」であるという認識をもつことが大事であることから、日々の健康を側面的にサポートしていくため引き続き本教室を実施します。写真は昨年の教室の様子です。

健康イチバン大作戦

自分自身が「体の責任者」であるという認識をもつことが大事であることから、日々の健康を側面的にサポートしていくため引き続き本教室を実施します。写真は昨年の教室の様子です。

少子化が進む時代であるからこそ、子どもを育てやすくどこにも負けない子育てを応援する取り組みが益々重要となってきたています。こうした中、国が進める子ども・子育て支援新制度が始まるところから、子育て家庭のニーズ調査を行い、計画策定の準備を進めている段階であります。ですが、本町としては長年の懸念事項であった認定こども園の開設に向けた準備を進めてまいります。

一方、少子化の影響により地域では子供会の活動が無くなりつつありますが、異年齢児が集い学び、その中から人間性や協調性を養う貴重な場であつたことを今一度認識し、地域やグループなど大人と子供が一緒にづくり事業に新たなニューカーとして「仮称」町内会子ども塾」なつて学ぶ場の機会を創出する仕組みとして、地域提案型まちづくり事業に新たなニューカーとして「仮称」町内会子ども塾」なつて学ぶ場の機会を創出する仕組みとして、地域提案型まち

少子化が進む時代であるからこそ、子どもを育てやすくどこにも負けない子育てを応援する取り組みが益々重要となってきたています。こうした中、国が進める子ども・子育て支援新制度が始まるところから、子育て家庭のニーズ調査を行い、計画策定の準備を進めている段階であります。ですが、本町としては長年の懸念事項であった認定こども園の開設に向けた準備を進めてまいります。

一方、少子化の影響により地域では子供会の活動が無くなりつつありますが、異年齢児が集い学び、その中から人間性や協調性を養う貴重な場であつたことを今一度認識し、地域やグループなど大人と子供が一緒にづくり事業に新たなニューカーとして「仮称」町内会子ども塾」なつて学ぶ場の機会を創出する仕組みとして、地域提案型まち

</div